

ホームページへの掲載		
済	6月中旬	掲載予定

岐阜県立各務原西高等学校

学校長 虫賀 文人

学校住所 各務原市那加東亜町 24-1 電話 058-371-0123

- 1 会議の名称 平成29年度 学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|-------|-----------------|
| 委員 | 松井 一三 | 十六銀行 各務原支店長（欠席） |
| | 小林 茂弘 | 各務原中央ロータリークラブ会長 |
| | 阿部 芳久 | 地域代表 |
| | 道藤美智代 | 本校元PTA副会長 |
| | 平井 佳美 | 本校第1回卒業生 |
| 学校側 | 虫賀 文人 | 校長 |
| | 堀 修 | 教頭 |
| | 尾関 英明 | 事務長（欠席） |
| | 土田 修三 | 教務主任 |
| | 向井 好美 | 生徒指導主事 |
| | 長谷川 博 | 進路指導主事 |
| | 高谷 日和 | 特別活動部長 |
| | 國居 秀則 | 教務副主任（記録） |
- 3 会議の目的 学校運営について、住民や保護者に情報を提供すると共に、幅広く意見や要望を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目指す。
- 4 会議の開催 平成29年5月29日（月） 15:30～16:30
各務原西高等学校 校長室
評議員4名、学校職員7名出席
- 5 会議の概要
- （1） 学校長挨拶、学校評議員委嘱
 - （2） 評議員自己紹介
 - （3） 学校側自己紹介
 - （4） 学校側説明（教務、生徒指導・進路指導・特別活動について）
 - （5） 評議員からのご提言・ご意見
 - （6） 諸連絡
- 6 会議内容報告

(1) テーマ 本校の説明

ア 学校長挨拶、評議員委嘱

(ア) 学校経営方針について

イ 各担当者から

(ア) 教頭から

a 平成29年度 学校経営計画（マニフェスト）について

- b 学校ホームページ（各西 Today）について
- (イ) 教務部から
 - a 単位制の特色を生かした学校改革（特に授業改善＝アクティブラーニング型授業の推進）について
- (ウ) 生徒指導部から
 - a 社会の一員としてふさわしい倫理観と規範意識の育成について
 - b 「安心」と「安全」を守ること（支援の強化徹底と早期対応）について
- (エ) 進路指導部から
 - a キャリア教育の充実について
 - b 自立支援と進路実現について
 - c 進路実績の向上について
- (オ) 特別活動部から
 - a 豊かな人間性・健全な心身の育成、リーダー性・自主性の育成、社会性・協調性の育成（生徒会、学校行事、部活動、ボランティア活動の取組）について

(2) テーマ 評議員からの提言、意見、要望等

ア インターンシップの内容はどのようなものか。

（学校側から、内容を説明）

進路指導が充実しており、活動内容が多く、よく消化していると感心する。

イ 地元において、地元の学校である各西の活躍や良い評判を見聞きすることは大変喜ばしい。

A I（人工知能）の開発が進み、人間が携わることのできる仕事は限定的になる。そのような将来に向けて、生徒の育成には各分掌の取組が重要になる。各西のさらなる活躍を期待している。

ウ 学校の評判が良く、各西が母校であることを誇りに思う生徒、卒業生は多い。

迷惑調査の方法を改めたことで一層の早期対応が可能となり、生徒の育成に熱心であることがよくわかった。

エ 部活動の安全性には十分な配慮が必要である。陸上部のやり投げが好成績を見せているが、練習状況はどのようなものか。

（学校側から、現状を説明）

登下校する生徒の鞆の荷物の多さから、勉強や部活動を頑張っている姿がうかがえる。今のまま頑張してほしい。

オ 校内では自分から大きな声で挨拶できる生徒が多くて気持ちが良い。校外で挨拶をしない生徒もいるようだが、挨拶しにくい状況もあり、子供なりの理由もあるようだ。大人が模範となることも大切である。

ボランティア等で地域貢献されているが、保護者が車で学校への送迎をしないことが近隣住民への配慮となり、地域貢献になるのではないか。

カ 保護者の送迎の車は小、中学校でも目立つ。保護者の努力で改善できることではないか。

キ 学校が家庭内のことまで踏み込むことは難しく、保護者は変わらない。子供が自立し、自ら登校する意識を持たせることが重要。全くなくすことは難しいと思うが、一人でも多くの生徒が保護者の送迎を不要と言えるようになるとよい。

ク 不審者情報が多いとあるが、どのような内容のものか。どこから入ってくるのか。

（学校側から、現状を説明）

7 会議のまとめ

評議員の方には日頃から学校に関心を持っていただき、具体的で明快な質問や意見が多く出された。学校に対する好意的な思いが語られ、今までの様々な取組について評価をしていただいた。さらに地元住民や親としての立場から、地域の中での学校の在り方や本校の目指す方向について示唆をいただいた。生徒の姿や学校の取組の評価が校内外で高く評価していただけるよう、今回の貴重なご意見を参考に、今後も改善に向けて粘り強く努力し、生徒のために尽力していきたい。